



J R 連 合 NEWS

JRに集う
すべての仲間の
JR連合への
総結集を!!

2022 年度

No. 11

2022年7月15日

日本鉄道労働組合連合会

J R 四 国 労 組 第 41 回 定 期 大 会

明るい未来の創造に向け運動方針を決定!

J R 四 国 労 組 は 7 月 8 日、高松市内において第 41 回定期大会を開催した。代議員・特別代議員、傍聴者ら総勢約 120 名出席のもと、スローガンに「団結 創造 実践 全組合員の団結力と実践力で苦境を克服し 誇りを持ち安心して働ける環境の実現を通じた明るい未来を創造しよう!」を掲げ、2022 年度の運動方針を満場一致で決定した。来賓には連合香川の福家良一会長、四国交運労協の砂田篤志議長、J R 四国の西牧世博社長、ジェイアール四国バスの高須賀浩社長らを迎え、J R 連合からは荻山市朗会長と森安祐貴産業政策局長が出席した。また、第 26 回参議院議員選挙に立候補した川合孝典参議院議員がオンラインで挨拶を行った。

冒頭の挨拶で大谷清執行委員長 (J R 連合副会長) は、運動方針の 3 つの柱である「安全・安定・安心輸送の確立」「組織の強化・拡大」「労働条件の改善」に加え「政策と政治の取り組み」について、この間の運動を通じた所感や今後の取り組みに対する決意を述べるとともに、「コロナ禍前の環境に戻るには時間がかかると想定されるが、全組合員の総団結によって長引く苦境を克服し、明るい未来を切り拓こう」と訴えた。



また、来賓として挨拶に立った荻山会長は、コロナ禍を克服するべくサービス連合・航空連合とともに取り組む 3 産別共同行動の成果や、J R 連合結成 30 年となる本年を J R 産業の次代への起点に据え運動を推進していく決意を述べるとともに、政策課題解決に向けた地域の理解促進や J R 7 社の結束強化、若年者の離職増加や勤労観の変化を踏まえた労働政策のあり方、民主化当該単組の若年者を中心とした組織拡大などに触れ課題提起を行った。



「誇りを持ち安心して働き続けることのできる環境」の実現に向け提言を提起!

議事では、2022 年度の運動方針のほか、働く立場から中長期的ビジョンを展望し、運動の土台として活用することを目的に策定する提言「私たちが考える『持続可能な J R 四国グループをつくる人財確保』(素案)」等が提起され、29 名の代議員、特別代議員から質疑を受け、中村鉄平書記長の総括答弁の後、すべての議案が満場一致で可決された。最後に、大谷執行委員長の団結ガンパローで定期大会を締めくくった。

